

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
浜田地域	浜田市	平成 24 年度～平成 30 年度	平成 24 年度～平成 30 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成22年度)	目標 (割合※1) (令和元年度) A	実績 (割合※1) (令和元年度) B	実績/目標※2	
排出量	事業系 総排出量	8,348t	6,037t (-27.7%)	7,723t (-7.5%)	27.0%
	1 事業所当たりの排出量	1.8t /事業所	1.30t (-30.5%)	2.3t (27.8%)	-91.1%
	生活系 総排出量	13,360t	10,342t (-22.6%)	11,707t (-12.4%)	54.9%
	1 人当たりの排出量	151kg/人・年	101kg/人 (-33.1%)	174kg/人 (15.2%)	-217.8%
合 計 事業系生活系総排出量合計	21,708t	16,379t (-24.5%)	19,430t (-10.5%)	42.9%	
再生利用量	直接資源化量	1,970t (9.1%)	2,856t (17.4%)	1,265t (6.5%)	-31.3%
	総資源化量	5,225t (24.1%)	5,830t (35.6%)	2,460t (12.6%)	-100.0%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	7,037MWh	4,200MWh	1,337MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	2,014t (9.3%)	1,397t (8.5%)	1,837t (9.3%)	0%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成22年度)	目 標 (令和元年度) A	実 績 (令和元年度) B	実績/目標※3	
総人口	61,450 人	56,263 人	52,834 人	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	3,815 人	4,050 人	4,663 人	115.1%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	6.2%	7.2%	8.8%	260%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	6,253 人	5,963 人	6,089 人	102.1%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	10.1%	10.0%	11.5%	1400%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	11,858 人	15,528 人	11,969 人	77.1%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	19.3%	27.6%	22.7%	41%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	39,524 人	30,722 人	30,113 人	98.0%

※3 (実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの		生活排水対策	浜田市	公共下水道や集落排水等の集合処理施設への接続及び合併処理浄化槽の設置・単独処理浄化槽からの切り換えなどについて啓発を図り、生活排水処理を推進していく。	H24～H30 年度	集合処理施設への接続促進のため戸別訪問を行った。また、イベントなどで普及啓発や処理場開放や小学校での出前講座を行い、生活排水処理推進へ啓発を行った。
処理施設の整備に関するもの		合併浄化槽の整備	浜田市	浄化槽設置整備事業 907 基 浄化槽市町村整備推進事業 128 基	H23～H30 年度 H23～H27 年度	浄化槽設置整備事業 895 基 浄化槽市町村整備推進事業 128 基
処理施設の整備に関するもの		浜田浄苑（し尿処理場）基幹的設備改良工事	浜田市	浜田浄苑は、平成 9 年 2 月の供用開始後 18 年が経過し、経年劣化による機能低下が予測されているため、基幹的設備改良工事により延命化を図り、し尿等の適正処理の安定的な維持管理を行う。また、延命化する設備機器を高効率化することで CO2 排出量の削減を図る。	H27～28 年度	高効率・低動力モータ採用機器への更新、インバーター採用機器への更新、凝集膜分離装置の更新（6 基→4 基）、焼却設備熱交換器高効率タイプへ更新、セラミック脱臭装置へ更新（塩酸不使用）、高効率高圧受変電盤へ更新、照明設備 LED に更新等により、Co2 排出量削減率 3%以上を達成した。
処理施設の整備に関するもの		浜田浄苑における基幹的改良工事に係る発注支援事業	浜田市	平成 25 年 2 月に作成した「浜田浄苑長寿命化計画書」及び「精密機能検査報告書」を基とした基幹的改良工事を予定している。発注に必要な発注仕様書（または要求水準書）等の資料作成支援を行うことを目的とする。	H27 年度	専門のコンサルタント会社による発注支援により、目的を達成した。

処理施設の整備に関するもの		マテリアル推進施設	浜田市	浜田市清掃第一処理場の解体、ストックヤードの建設	H29～H30年度	現在は使用済みの乾電池を保管・回収を行っている。 また、回収した不法投棄ごみの中で、古タイヤなどのリサイクル可能な資源物の保管に使用している。
施設整備に係る計画支援に関するもの		浜田地区ストックヤード整備計画策定支援事業	浜田市	浜田市清掃第一処理場の解体し、その跡地にマテリアル推進施設であるストックヤードを建設するための支援事業	H28～H29年度	専門のコンサルタント会社による計画支援により、目的を達成した。
その他		廃棄物処理施設における長寿命化計画策定支援事業	浜田市	浜田浄苑は、平成9年2月の供用開始後15年が経過し、経年劣化による機能低下が予測されているため、「精密機能検査」及び「浜田浄苑長寿命化計画」策定を目的とする。	H27年度	専門のコンサルタント会社による精密機能検査及び浜田浄苑長寿命化計画策定という、目的を達成した。

3 目標の達成状況に関する評価

【ごみ処理】

排出量

目標年度の実績は 19,430 t（10.5%）で、目標値を達成できなかった。

再生利用量

直接資源化量：目標年度の実績は 1,265 t（6.5%）で、目標値を達成できなかった。

総資源化量：目標年度の実績は 2,460 t（12.6%）で、目標値を達成できなかった。

最終処分量

目標年度の実績は 1,837 t（9.3%）で、目標値を達成できなかった。

【生活排水処理】

公共下水道

目標年度の実績は 4,663 人（8.8%）で、目標値を達成した。

集落排水施設等

目標年度の実績は 6,089 人（11.5%）で、目標値を達成した。

合併処理浄化槽等

目標年度の実績は 11,969 人（22.7%）で、目標値を達成できなかった

汚水衛生処理率は、平成 22 年度の 35.7%に対し、令和元年度実績は 43.0%となっており、目標の 45.4%を下回っている。未達成となった要因としては、合併処理浄化槽の設置基数が想定より少ないためと考えられる。

(都道府県知事の所見)

【ごみ処理】

ごみ処理については、ごみの排出量の項目において、事業系、家庭系ともに減量目標に届かなかった。また再生利用量、エネルギー回収量、最終処分量の項目についても、目標に届かなかったため、今後も引き続き、広報紙等による啓発活動及び再生利用の更なる取り組みに努められたい。

【生活排水処理】

目標には届かなかったが、未処理人口は着実に減少しており、本計画の施策が生活排水処理の改善に寄与したことが認められる。今後も引き続き、公共下水及び浄化槽の事業区域を整理し、経済的かつ効率的な整備を図られたい。